

カーボンニュートラル

ミツウロコグループの環境への貢献

ミツウロコグループは、この地球から事業活動に必要な資源等、様々な恩恵を受けており、地球環境をより良い状態に保全していくことが自らの責務であることを自覚しています。ミツウロコグループの存在意義は、日々の企業活動を通じ、社会そのものを良くしていくことであり、社会課題を解決するための積極的な取り組みを最重要視しています。世界共通の課題である気候変動対策として、ミツウロコグループの事業活動およびお客様の製品・サービス利用時のCO₂排出量の削減とエネルギー効率向上へ貢献し、2050年度のカーボンニュートラルを目指します。

Topic

系統用蓄電池を用いた需給調整市場への本格参入

ミツウロコグリーンエネルギー株式会社は、再生可能エネルギー主力電源化の普及および電力システムの安定化に向けた取り組みとして、愛知県田原市および宮城県仙台市に系統用蓄電池を保有しています。愛知県田原市の蓄電所においては既存の風車の劣化撤去に伴い接続が可能となった連系線を活用し、蓄電池を設置しており、リプレイスが不可能な跡地にも運用を変換して再生可能エネルギーの拡大の役割を担っています。



自社のCO₂削減率

2050年度目標

カーボンニュートラル

顧客のCO₂削減率

2050年度目標

カーボンニュートラル

※ カーボンニュートラル:CO₂排出量から植物等による吸収量を差し引いて、排出量を実質的にゼロにすること

環境マネジメント → [P29](#)

2024年ハイライト

人的資本経営

従業員一人ひとりの価値最大化による企業価値の向上

ミツウロコグループでは、人財こそ最大の資産であるという考えに従い、将来の成長力の源泉である従業員の健康管理を重要な経営課題として捉えています。「ミツウロコグループヘルスケア宣言」のもと、一人ひとりが多様なライフステージに向かっていることを尊重し、様々な取り組みや情報発信を通じて、従業員の自律的・積極的な健康増進をサポートしてきました。今後も、さらなる疾病予防のための心身の健康づくり、新型コロナウイルス感染症への対応を含めた新しい生活様式に沿った働き方等、健康経営のリーディングカンパニーとして一層充実した健康への取り組みやサポートを推進していきます。

女性管理職比率

2026年度目標

11%

定期検診受診率

各年度目標

100%の継続
(全社員に対する比率)

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン → [P69](#)

Topic

ダイバーシティの推進

ミツウロコグループは、時代が求めるものを生業とする「環境適応業」として成長し、時代とともに変化することを理念としてきました。今後は環境に後追いで適応するのではなく、私たち自身で新しい環境やより良い環境を提案し創ることが持続的な成長の実現に必要なだと考えています。

そのためには、ミツウロコグループにおいても、新卒・中途採用、雇用形態、国籍、性別、年齢、宗教等に囚われない組織と、その多様性を受け入れ強みとして活かす企業文化の醸成が不可欠です。ミツウロコグループ自体が「好循環を創造する企業」となり、「私たちが変化し続ける」ことで、新しい時代を創っていく存在になりたいと考えています。



2024年ハイライト

安全で安定した エネルギー供給

エネルギーの安定供給

安全は、ミツウロコグループの推進する事業すべての特性から、欠かすことのできないものです。特に主力であるエネルギー関連製品は、ライフラインとして私たちの生活に直結しており、エネルギーの安定供給、安全・安心・迅速な物流サービスを通じて社会に貢献することがミツウロコグループの使命です。今後も、東日本大震災の経験・教訓や、近年多発している台風・水害・猛暑等による大規模自然災害の影響を踏まえ、防災の必要性・重要性を認識し、防災対策や支援体制、BCP等の災害対策の強化に努めていきます。

Topic

全国ミツウロコ会『みらいプロジェクト』始動

VUCA(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)の時代において、特に変動性と不確実性がビジネスに大きな影響を与えており、①リスクマネジメント、②IT技術の理解、③ネットワークが重要であると言われています。これらの経営環境・時代の変化に対応するため、エネルギー事業では、未来に向けたビジネスモデルを策定するプロジェクトを全国ミツウロコ会会員店様と一緒に展開していきます。

エネルギー事業では全国ミツウロコ会を通じて「今つながる 未来へつなげる」をキャッチフレーズのもと、未来の事業環境の変化に対応するために『みらいプロジェクト』を始

動する一方、現在の課題であるカーボンニュートラルへの対応、LPガスの商慣行の是正について取り組んでいきます。

- あらゆる事業環境の変化や既存ビジネスモデルに与える影響を想定し多面的にスタディし、未来に向けてどのように変革していかなくてはならないか検討
- 各種専門家による講演、最新技術の紹介、ケーススタディ、グループディスカッションなどを通じ、個別の行動計画を策定
- 将来に向けて有効な商材の検討



エネルギー・電力の安定供給 → P55

地域社会との共存・共栄

地域社会への貢献

ミツウロコグループは、事業を営む上で、これまで多くのステークホルダーに支えられてきました。その中でも地域社会の皆様への存在は欠かすことができないものです。ミツウロコグループはこれまで、ビジネスを通じた関係だけでなく、地域の清掃活動や行事への参加、チャリティー活動、スポーツなどの様々な関わりを通じ、伝統的に地域との信頼関係を築いてきました。ミツウロコグループは、この地域社会における企業市民として、たとえ小さなことでも自分たちができること、するべきことに全力で取り組み、地域社会と共存・共栄をしていきたいと考えています。

Topic

スポーツを通じた社会貢献

2012年にミツウロコ女子バスケットボール部を発足し、2021年5月に水泳部を創部、2022年4月には競泳の松元克央選手と所属契約を締結しました。また、2023年9月にミツウロコグループのアスリート職社員第1号となる競泳選手を採用、現在は2名の競泳選手がアスリート職社員として活躍しています。今まで以上にスポーツを通じた地域コミュニティとの交流を深め、活性化に貢献することを理念に掲げ、躍進を続けています。各部門が社員として職場で勤務しながら競技に臨み、社会人としての責任・姿勢を養い、ともに高い意識で取り組んでいます。活躍する選手が身近にいる

ことで一緒に働く社員は刺激を受け、選手にとっても身近に応援してくれる人が支えとなり、社員の一体感が醸成され、職場も活気に溢れています。また、プロゴルファーの川崎志穂選手、セキ・ユウティン選手、三浦桃香選手、エイミー・コガ選手、斉藤愛璃選手、2024年1月より笹原優美選手と所属契約を締結しており、夢に向かって邁進する選手たちを応援するとともに、スポーツ文化の発展に貢献します。今後もミツウロコグループ全体の企業価値を高めるため、スポーツを通じた社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。

